

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人 聖カタリナ

指定介護老人福祉施設 聖マルチンの家

指定短期入所生活介護 聖マルチンの家

指定居宅介護支援事業所 聖マルチンの家

も く じ

1. 入所者の状況	1
2. 入退所の状況	2
3. 入院の状況	3
4. 受診関係	3
5. 現病歴	4
6. ボランティア関係	4
7. 実習・学校関係	4
8. 事故報告	5
9. 委員会	
委員会フローチャート	6
業務運営委員会	7
生産性向上委員会	8
事故防止検討委員会	10
身体拘束廃止および高齢者虐待防止委員会	11
感染症・食中毒予防対策委員会	12
褥創予防対策委員会	13
地域交流委員会	14
10. クラブ活動	15
11. 指定短期入所生活介護(ショートステイ)	16
12. 居宅介護支援	19
13. 研修	20
14. 活動の様子	24

I.指定介護老人福祉施設

1.入所者の状況 定員55名

(1)保険者別

令和7年3月31日現在(単位:人)

	男 性	女 性
松山市	9	34
今治市	4	6
練馬区	0	1
合 計	13	41

(2)年齢構成

令和7年3月31日現在(単位:人)

	男性	女性	合計	百分率
65～69	0	0	0	0.0
70～74	0	2	2	3.6
75～79	4	1	5	9.1
80～84	4	7	11	20.0
85～89	2	8	10	18.2
90以上	3	23	26	47.3
合 計	13	41	54	98

(3) 平均年齢

令和7年3月31日現在(単位:歳)

男性平均	84.7
女性平均	90.2
全体平均	88.9

(4)在所年数

令和7年3月31日現在(単位:人)

	男性	女性	合計	百分率(%)
1年以内	3	10	13	23.6
1～ 3年	7	18	25	45.5
4～ 5年	1	8	9	16.4
6～10年	2	4	6	10.9
11～15年	0	1	1	1.8
合 計	13	41	54	98

(5)要介護度

令和7年3月31日現在(単位:人)

	男性	女性	合計	百分率(%)
1	0	0	0	0.0
2	0	0	0	0.0
3	4	7	11	20.0
4	3	25	28	50.9
5	6	9	15	27.3
合 計	13	41	54	98

※入院者も含む

2. 入退所者の状況

月	入 所					退 所			
	在宅	在宅 (ロングショートから)	他施設	病院	計	死亡	入院	在宅復帰	計
4	0	0	0	2	2	2	1	0	3
5	1	0	0	1	2	2	0	0	2
6	0	0	1	0	1	0	1	0	1
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	2	1	3	2	0	0	2
9	0	0	0	0	0	0	1	0	1
10	0	1	0	0	1	0	1	0	1
11	0	0	0	1	1	1	0	0	1
12	0	0	0	0	0	1	0	0	1
1	0	1	0	1	2	1	0	0	1
2	0	1	3	0	4	3	0	0	3
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	3	6	6	16	12	4	0	16

障がい高齢者の日常生活自立度

令和7年3月31日現在

	人数	百分率(%)
J1	0	0
J2	0	0
A1	2	4
A2	13	24
B1	9	16
B2	18	33
C1	3	5
C2	10	18
合計	55	100

認知症高齢者の日常生活自立度

令和7年3月31日現在

	人数	百分率
正常	1	2
I	1	2
Ⅱa	3	5
Ⅱb	8	15
Ⅲa	16	29
Ⅲb	10	18
Ⅳ	14	25
M	2	4
合 計	55	100

3. 入院の状況

	入院日	退院日	診断名	医療機関名
Y M	4/9	4/13	高血糖、脱水	北条病院
S W	4/16	5/11	貧血	北条病院
Y S	4/18	6/13	腎盂腎炎	北条病院
Y K	5/15	5/27	肺炎	北条病院
M H	9/5	9/6	PEG交換	北条病院
S W	9/21	10/10	慢性心不全	北条病院
F T	9/24	10/23	肺炎	北条病院
T K	10/12	10/21	頭部打撲	北条病院
T O	10/21	11/21	肺炎	済生会病院
T O	11/21	12/17	肺炎	北条病院
K H	12/2	2/6	肺癌	北条病院
M M	12/21	12/26	インフルエンザ肺炎	北条病院
K N	1/16	2/13	インフルエンザ肺炎	北条病院
H N	1/21	1/31	インフルエンザ肺炎	日赤
K W	1/22	1/10	インフルエンザ肺炎	北条病院
S Y	2/3	3/3	肺炎	北条病院
Y T	2/4	2/27	左大腿骨頸部骨折	マドンナ病院

4. 専門科別受信受診(往診)状況

	歯科	泌尿器科	皮膚科	整形外科	精神科	眼科	内科
4月	10	0	1	0	7	0	5
5月	7	0	1	1	5	1	4
6月	10	0	2	1	7	0	5
7月	11	0	1	3	6	0	5
8月	9	1	1	1	8	1	6
9月	6	0	1	1	8	2	3
10月	5	0	1	2	7	0	3
11月	6	0	0	2	8	0	6
12月	2	0	3	0	8	0	5
1月	0	1	2	0	8	0	29
2月	3	0	2	2	8	0	2
3月	3	3	3	1	8	0	13
合計	72	5	18	14	88	4	86

5. 現病歴

令和7年3月31日現在（単位：人）

病 名	人 数
認知症	23
脳血管疾患	8
心疾患	8
統合失調症	3
高血圧症	1
脊髄小脳変性症	1
老人性うつ病	1
頸髄損傷	1
糖尿病	5
前立腺肥大	1
リウマチ	1
慢性呼吸不全	1
総計	54

6. ボランティア活動・地域交流

グループ・個人名	内容	日	人 数
浅海地区民生委員	訪問	6月17日	6名
北条消防署	餅つき	12月1日	約20名
光ヶ丘女子高等学校 家庭科部	クリスマスカードと小物	12月14日	-
北条高校家庭科クラブ	壁紙	12月18日	-
聖カタリナ高等学校	クリスマス飾り	12月21日	-
中西内3世代交流	しめ縄飾り・おもち	12月22日	7名
愛媛日産自動車㈱	車椅子寄贈	3月17日	3名
太田美容ボランティア	散髪	月2回	1名
ムツノ理容師	散髪	月2回	1名

7. 実習・学校関係

学校名等	内容	日	人数
北条高等学校 3年次生	介護実習	令和6年6月3日～令和6年6月14日	2名
北条高等学校 3年次生	介護実習	令和6年10月15日～令和6年10月25日	2名

8. 事故報告書事例

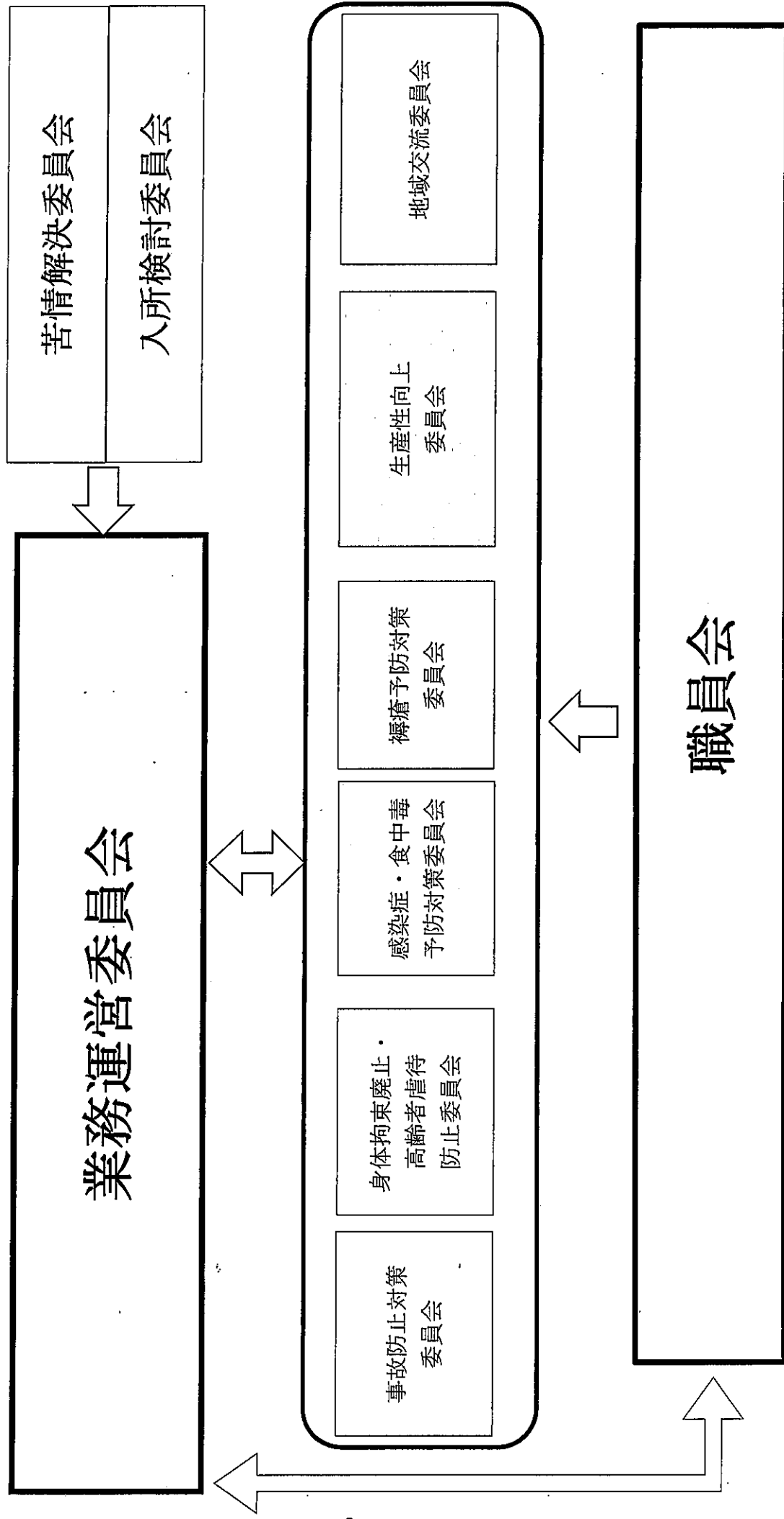
①月別事故報告書事例

月	施設入所	短期入所	計(件)	百分率(%)
4	9	7	16	10.81
5	15	5	20	13.51
6	14	1	15	10.14
7	7	2	9	6.08
8	4	2	6	4.05
9	10	3	13	8.78
10	11	3	14	9.46
11	9	11	20	13.51
12	4	3	7	4.73
1	9	1	10	6.76
2	7	2	9	6.08
3	6	3	9	6.08
計	105	43	148	100

事故名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	百分率(%)	件数	百分率(%)	件数	百分率(%)
転倒	33	13.36	37	25.00	34	22.97
転落	36	14.57	10	6.76	8	5.41
誤薬	3	1.21	1	0.68	2	1.35
服薬ミス	2	0.81	2	1.35	0	0.00
投薬忘れ	4	1.62	7	4.73	0	0.00
誤嚥・誤飲・誤食・窒息	3	1.21	2	1.35	1	0.68
皮膚剥離	76	30.77	51	34.46	34	22.97
外傷	20	8.10	5	3.38	9	6.08
異食	4	1.62	2	1.35	1	0.68
利用者トラブル	2	0.81	1	0.68	1	0.68
皮下出血	50	20.24	17	11.49	35	23.65
その他	14	5.67	13	8.78	23	15.54
計	247	100	148	100	148	100

委員会フローチャート

令和6年4月1日



委員会： 業務運営委員会

令和6年度	計画	①年間を通して外構の美化を保てるよう委員会にて検討を継続する。 ②施設の資質向上や運営についての検討を行う。
	実行	①担当月を決めて各部署で外構の美化活動を行った。また、シルバー人材センターに、庭木の剪定を依頼した。 ② ア) 夕食後、退所のショートステイ利用者について、お迎え家族の来所窓口をイエス館東出入口に設置した。 イ) 専門職の就業時間を8:30~17:30へ変更した。 ウ) 非常食備蓄の保管場所を変更した。 エ) 停電時の対策で、電子ロック扉付近に鍵を設置した。また、蓄電池の追加購入を行った。
	評価	①各部署が協力して年間を通し、外構の美化を保つことが出来た。 ② ア) これまでインターホンが玄関ホールしか鳴らず、夜間の来所は宿直職員が出動するまで対応困難だったが、イエス館にもインターホンを設置したことで、対応がスムーズになった。 イ) これまで職種ごとにバラバラだった就業時間を可能な範囲で変更し、朝礼の参加時間を平等に揃えることが出来た。 ウ) 広い空間に整頓して保管することで、数量確認やどこに何があるのか分かりやすくなった。 エ) 各フロアに蓄電池を配置することで、速やかに電気の確保ができるようになった。また、鍵を設置したことで、停電で電子ロック操作不能時に解錠し、フロア館の移動が可能になった。
令和7年度に向けての改善		・施設の資質向上や運営についての検討を行う。 ・事業計画の重点項目の進捗を確認する。

委員会： 生産性向上委員会

令和6年度	計画	(旧 安全衛生委員会) 全職員で施設の防災に努める。 災害・感染症蔓延時の対応、BCP（業務継続計画）の内容の確認、修正と周知や訓練を行う。 非常時の避難生活やゾーニングが速やかに行えるように施設内の物品整理と確保、改装を行う。 居室出入り口の拡大⇒ベッドの移動がスムーズにできるように (旧 生活支援向上委員会) 他職種と連携し個々の利用者の状態変化にあわせた介護を行い、早期に対応を行う。 精神面について、安心して楽しみをもって生活をしてもらえるよう感染症の蔓延防止対策と併せた行事の実施を検討して行く。 (旧 ノーリフティングケア委員会) 勉強会を実施することで、ポジショニングの知識や技術に対する理解をさらに深めることができた。来年度も習熟度チェック表を用いて苦手な部分を習得できるように委員で指導していく。 また福祉用具が安全に使用できているか定期的に委員で確認していく。
	実行	利用者が安心・安全に生活できるよう、災害・避難訓練の実施。火災受信機の操作手順の確認。また、災害時用の非常食の確保・管理実施。各階に発電機の購入を行う。 コロナ感染症やインフルエンザの施設内クラスターにおいて、BCPの実施、内容の修正と確認、周知を行う。感染症対策の為に防護服類や衛生用品類の確認と確保・管理を実施。 感染症の蔓延状況にあわせて行事やクラブ活動（クッキングや園芸）を行い、利用者に楽しんで頂いた。また、日常の様子を広報誌やブログでご家族に報告した。 また各部署と連携し、個々の利用者状態の変化に合わせて食事形態、入浴、排せつ、車椅子、移乗方法を検討し選定。福祉用具を利用者・職員共に安心・安全に使用する。 ICTの伴走支援を受け、施設見学や展示会に参加し、施設に必要な機器の検討を行った。

	評価	災害や感染対策において、いつ起こるか分からない為、職員全員が災害時の避難確認や備蓄類の内容や保管場所の確認を定期的に行っていく必要がある。また、コロナ・インフルエンザ共にクラスターとなった。再度、感染防止対策について、手指消毒・ガウンテクニックの手順だけでなく、全職員が的確なゾーニングや物品配置を行えるように再度徹底する。 利用者と職員が安心・安全に生活、業務が行える為に、各利用者のアセスメントの実施・状態変化時・変化後のアセスメントの見直しは行えた。しかし、職員の業務内容の見直しまでは出来なかった。また、必要とされる ICT 機器を使用している施設の見学、展示会に参加し検討を行ったが、明確な機器の選定までにはいたらなかった。
令和7年度に向けての改善		利用者と職員が安心・安全に生活や業務を行える様に、業務内容と生活環境共に 5 S（整理・整頓・掃除・清潔・躰：習慣）に取り組んでいく。また、インカムや見守り機器などの ICT の導入により、限られた人材の中で出来る限り安心・安全・楽しい生活や職員は業務を行えるようにしていく。 また、いつ起こりかわからない災害や感染症対策においても BCP の適宜内容の確認、変更と全職員の周知、徹底と実行に移せるように研修を行う。

委員会： 事故防止検討委員会

令和6年度	計画	ヒヤリハット報告書を増やし、職員間で共有と共に、リスク対策を早期検討することで事故の防止に努める。 また、事故の原因を明確にし、同様の事故を防ぐ。 計画的な認知症や事故防止の勉強会を継続し、安全なケアを提供できるようにする。
	実行	事故発生時の状況・原因の分析と対応策の検討と周知徹底。 毎月委員会を行い、ヒヤリハットと事故の内容対応の確認・検討を行う。ヒヤリハット報告書とアセスメントの重要性の確認。 勉強会（事故・認知症について）の実施。
	評価	重大事故に対するヒヤリハットの報告件数が少ない。 普段の利用者の状態に慣れてしまい、細部への気配りがおろそかになってしまっている部分がある。 全職員が各利用者の身体状況（アセスメント）の把握や状態変化に対してのリスク対応を早期に検討し実施する必要がある。
令和7年度に向けての改善		職員が各利用者の事故リスクを認識することでヒヤリハット報告書を増やし、事故の対策早期にすすめ事故の防止に努める。 また、事故の原因を明確にし、同様の事故を防ぐ。 計画的な認知症や事故防止の勉強会を継続し、安全なケアを提供できるようにする。

委員会： 身体拘束廃止および高齢者虐待防止委員会

令和6年度	計画	利用者の生活の場である為、尊厳を守り拘束はせず二次障害を防ぎ、ストレスのない生活に努める。 不適切ケア（グレーゾーン）についての検討 身体的・精神的拘束や虐待を防ぐ。
	実行	勉強会の実施。 居室の位置の検討、ベッドの低床対応、床対応や見守りセンサーベッドの使用により転倒・転落のリスクが高い利用者への頻回な訪室による監視感覚やベッド柵で囲むなどの拘束を防ぎ、ストレスを感じさせないように努めた。 入院中に拘束していても、退院後は状態を観察し対応を行った。
	評価	身体拘束・高齢者虐待は無し。 不適切ケア（グレーゾーン）において、個人の考えではなく複数の職員、職種にて利用者の状態を考えて対応策の検討を継続していく。 声掛けによる拘束や虐待についても継続して考えていく。
令和7年度に向けての改善		職員間で身体拘束や虐待による利用者への影響の認識を行う。 利用者の生活の場である為、尊厳を守りながらストレスのない生活を支援し、拘束を行わず二次障害を防ぐことに努める。 不適切ケア（グレーゾーン）についての検討を他職種で行い、身体的・精神的拘束や虐待を防ぐ。

令和6年度	計画	職員個々の感染予防の知識を高め、日々の感染対策の徹底と継続に努める。
	実行	・12月(12/6～12/25) コロナ発生 陽性者 ショートステイ：5名、 特養1F：2名(1名入院 12/26 死亡退所) 職員：3名 計10名 ・1月(1/14～1/31) インフルエンザ発生 陽性者 特養1F：10名(1名入院) 特養2F：15名(2名入院、1名 1/31 死亡退所) 職員：4名 計29名 ・感染症、食中毒予防勉強会の実施
	評価	・コロナ 北条病院と連携し、発熱外来を受診して対応できた。状態の悪化した人は入院することができた。 ・インフルエンザ 北条病院と連携し、発熱外来を受診して対応できた。状態悪く、肺炎を併発された1名が救急搬送、1/31に死亡退所される。今回のインフルエンザでは食事量が低下し、中々改善みられない人が数名、内2名入院中。認知症で徘徊がある利用者は隔離が難しく、感染が拡大した。
令和7年度に向けての改善		・定期的に勉強会を実施する。 ・職員一人一人が普段の感染対策を継続していく。 ・感染症発生時は感染拡大を防ぐ対策を行う。

委員会： 褥瘡予防対策委員会

令和6年度	計画	・各職種が連携し皮膚の異常の早期発見に努め、適切な治療に繋げる。 ・皮膚を清潔に保つ。 福祉用具を正しく使う。
	実行	動画による褥瘡の勉強会の実施。 定期的に写真を撮り、経過をまとめた。 各職種の連携により、異常の早期発見に努めた。
	評価	体力低下、食事量低下と共に褥瘡の悪化がみられた。毎日処置は継続しているが、改善の見込みのない方もいる。 毎日の処置により改善し、処置が不要になる人も数名いた。
令和7年度に向けての改善		・褥創予防を徹底する。 ・北条病院と連携して、適切な治療に繋げる。

委員会： 地域交流委員会

令和6年度	計画	今後も地域の感染状況を確認しながら、地域との交流を図る。
	実行	・神輿 ・餅つき
	評価	・神輿に対する反応は良好であった。特に地元の方は、昔の思い出やしきたりについて、お話されていた。また地域の方も久しぶりにあった方との交流を楽しんでいた。 ・餅つきでは消防団を中心に行った。利用者は餅つきに歓声をあげられていた。
令和7年度に向けての改善		・神輿の受入はあらかじめ時間を確認していたが、到着時間が大幅にずれ、利用者が40分以上玄関で待機することとなった。次回は到着連絡後に移動開始で構わない。 ・餅つきは楽しめたが、自分も食べたかったとの意見が多くみられた。業務用の高齢者でも食べられる餅を提供できないか。 ・敬老の日に幼稚園との交流はできないか。

10. クラブ活動報告

書道クラブ	【できたこと】 お正月に書初めを実施。 【今後の課題】 字を書ける方が減ってきているため、字にこだわらない様にする。 また、筆や墨汁にこだわらず、筆ペンなどを使用し利用者が書きやすいように工夫する。
クッキングクラブ	【できたこと】 感染症が蔓延した月は実施できなかったが、利用者からの希望を聞きながら、1階と2階交互に月1回、季節にあったデザートなどを作ることができた。 【今後の課題】 調理作業に参加できる利用者が減っているため、少しでも調理に参加しやすい内容を考える。また、今後も利用者の希望にそえるメニューを検討していく。
おでかけ・園芸クラブ	【できたこと】 感染症の蔓延防止により外出は難しかったが、施設周辺の散歩を行うことができた。また、かいわれ大根や夏野菜（トマト・なす・ピーマン・オクラ）を育てたことで、水やりや収穫など楽しむことができた。 【今後の課題】 1階にて野菜を育てていたため、他の階の利用者が参加できなかった。各階で、希望する利用者が参加しやすい環境をつくる。 気候の良い時期は、近くを散歩し、周辺の花や畑などの様子をみて四季を感じてもらえるようにする。
いきものクラブ	【できたこと】 セラピー犬やカメとのふれあいにて、利用者に笑顔が見られた。 【今後の課題】 セラピー犬も高齢のため、無理のない程度にふれあうようにする。 カメやメダカなど生き物とのふれあいを大切にしていける。

1 1. 指定短期入所生活介護（ショートステイ）

月	利用者総数	一日の平均人数
4	323	10.77
5	309	9.97
6	298	9.93
7	351	11.32
8	421	13.58
9	397	13.23
1 0	422	13.61
1 1	417	13.9
1 2	357	11.52
1	377	12.16
2	381	13.61
3	425	13.71
合 計	4478	12.27

※特養の空ベッド利用も含む

居宅介護支援事業所

令和6年度	計画	認知症高齢者や独居高齢者が住み慣れた地域社会の中で、何時までも過ごせれるよう、本人・家族の意向や想いを大切に、的確にニーズを把握し、状態の変化に注意をはらい、心身の状況や置かれている環境を適切に汲み取り、医療連携やサービスの提供が滞りなく提供できるよう支援体制を整える。利用者本位のケアマネジメントが行えるよう、研修や勉強会への参加を行うことで、自己研鑽に努めていく。 医療連携は大切であり、連携シートの活用や情報収集力・調整を行うことで、利用者に寄り添い、情報共有が行えるようにしていく。 地域のネットワークや社会資源の活用を行うことで、適切なサービスの提供が行えるよう努めていく。また、地域包括支援センターとの連携を図り、情報の共有をすることで、資質向上が図れるようにする。
	実行	在宅で生活されている利用者に対して、住み慣れた地域でいつまでも過ごせれるよう支援し、本人・家族の思いを大切に、各事業所との連携を密にとることで、サービスの提供に結び付いた。本人・家族の意向を把握し、訪問時に状態や心身の状況を見極め、アセスメントを的確に行うことで、サービスに繋がれた。また、医療との連携を図ることで、医療連携シートの活用により、情報提供や利用者の入院支援等への体制が図れた。認知症高齢者や中重度の介護者に対して地域包括支援センターとの連携や相談を行うことで、適切なアドバイスの提供ができた。
	評価	地域の中で過ごしている認知症高齢者や独居高齢者が住み慣れた地域の中でいつまでも継続できるよう、利用者や家族の思いを大切に考え、地域の方との関わりを密にとることで、適切な支援は必要と思われた。利用者のニーズを把握し、状態の観察や変化に注意をしながら、心身の状況や置かれている環境に応じた適切なサービスの提供や医療との連携を図ることで、利用者本位の目標に取り組んでいけるよう支援が必要であった。本人の不安感の除去に努め、本人のこころを傾聴し、何が必要かを見極める必要があった。医療連携シートの活用を行うことで、利用者・家族からの情報を公摂り、早期発見に繋げていく必要があった。地域包括支援センターとの連携を図ることで、情報共有や地域の中で事業所として、自己研鑽に努め、利用者が求めているニーズが適切に対応できるように努めていく必要がある。

令和7年度に向けての改善	地域社会の中で過ごしている認知症高齢者や独居高齢者が住み慣れた地域の中で、何時までも過ごせれるよう、本人・家族の意向や思いを大切に、的確なニーズを把握し、状態の変化に注意を払い、心身の状態や置かれている環境を適切に汲み取り、医療との連携やサービスの提供が滞りなく提供できるように支援体制を整えていく。利用者本位のケアマネジメントを行うためにも、研修や勉強会への参加を行うことで、自己研鑽に努めていく。医療との連携は大切であり、医療連携シートの活用や情報収集力・調整を行い、利用者に寄り添えるよう情報共有を行うようにする。 地域のネットワークや社会資源野活用を行うことで、適切なサービスの提供が行えるように努める。また 地域包括支援センターと連携をとり、情報の共有を図ることで、資質向上が図れるようにしていく。
---------------------	--

令和6年度 事業実績(月別ケアプラン作成件数)

指定居宅支援事業所 聖マルチンの家

		件数	金額			件数	金額
4月	介護給付	28	339,580	10月	介護給付	31	368,410
	予防給付	25	108,500		予防給付	22	86,240
5月	介護給付	29	347,190	11月	介護給付	29	334,440
	予防給付	26	104,420		予防給付	22	86,240
6月	介護給付	29	343,440	12月	介護給付	30	358,050
	予防給付	24	94,080		予防給付	23	90,160
7月	介護給付	27	306,220	1月	介護給付	27	319,220
	予防給付	23	90,160		予防給付	24	99,580
8月	介護給付	28	323,330	2月	介護給付	26	308,360
	予防給付	25	106,000		予防給付	24	94,080
9月	介護給付	28	323,330	3月	介護給付	26	308,110
	予防給付	23	90,160		予防給付	24	94,080
計	介護給付	169	1,983,090	計	介護給付	169	1,996,590
	予防給付	146	593,320		予防給付	139	550,380

月平均 介護給付 28.17 件
 予防給付 23.75 件

介護給付	338	3,979,680
予防給付	285	1,143,700
合計	623	5,123,380

* 指定居宅介護支援事業所 聖マルチンの家(専任介護支援専門員)
 介護給付と予防給付(3人で1件)合わせて44件迄

介護給付(国保連)
 予防給付(松山市地域包括支援センター 北条委託)

13. 施設外研修（2024年度）

日 時 ・ 研 修 名	参加職種	参加人数
R6.5.18 日本カトリック関西支部 施設長会議	施設長	1名
R6.5.24 令和6年度中予地区老人福祉施設協議会 第1回総会・研修会	施設長	1名
R6.5.30 福祉・介護関係事業所 合同入職式	介護職	1名
R6.6.21 令和6年度「福祉の職場」新任職員研修会	介護職	1名
R6.6.29 令和6年度 介護福祉事例研究報告会	介護職	1名
R6.7.14 令和6年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	介護職	1名
R6.7.1 令和6年度 愛媛県認知症実践者研修	介護職	1名
R6.7.9 第19回 愛媛県老人福祉大会	介護職	2名
R6.7.23 令和6年度感染対策研修 「感染対策机上訓練」	看護職 介護職	各1名
R6.8.2 令和6年度 テーマ別研修「接遇」	介護職	1名
R6.8.5～6 令和6年度 愛媛県認知症実践者研修	介護職	1名
R6.8.22～23 第71回 四国老人福祉施設関係者研究大会	施設長	1名
R6.8.8 松山市介護ロボット介護ソフト説明会	介護職	1名
R6.8.11 令和6年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	相談員	1名
R6.8.16 令和6年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	介護支援専門員	1名

R6. 8. 21 令和 6 年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	介護支援専門員	1 名
R6. 8. 22 技能実習指導者講習	介護職	1 名
R6. 8. 24 調理セミナー&給食試食会	管理栄養士	1 名
R6. 8. 27 介護職員が行う利用者へのリハビリと職員の腰痛対策研修会	機能訓練士	1 名
R6. 9. 11 令和 6 年度 防災に関する研究研修会 熊本県福祉避難所視察研修	施設長	1 名
R6. 9. 19 令和 6 年度テーマ別研修 「施設における看護介護・医療連携」	看護師 介護職	各 1 名
R6. 10. 1 令和 6 年度 愛媛県認知症介護実践者研修	介護職	1 名
R6. 10. 2 令和 6 年度 テーマ別研修「不適切ケア」	介護支援専門員	1 名
R6. 10. 5 介護職種の技能実習指導員講習	介護職	1 名
R6. 10. 7 日本カトリック高齢者施設協会 第 32 回全国研修大会	介護支援専門員 介護職	各 1 名
R6. 11. 5 ICT 設備見学（生産性向上委員会）	施設長 介護職 機能訓練士	各 1 名
R6. 11. 6 令和 6 年度 社会福祉法人監事監査研修会	監事	1 名
R6. 11. 20 第 3 階全国老人福祉施設大会 研究会議 in 滋賀	施設長	1 名
R6. 11. 23 メディカルフェア	管理栄養士	1 名
R6. 11. 29 VR 認知症体験	介護職 相談員	各 1 名

R6. 12. 3 愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー養成研修会	介護職	1名
R6. 12. 17 令和6年度愛媛未来マイスター育成事業	介護職	1名
R7. 1. 17 中予老協福祉人材交流会	介護支援専門員	1名
R7. 1. 27 令和6年度 中予地区老人福祉施設協議会 「自己決定支援について」	介護支援専門員	2名
R7. 1. 29～30 第22回 四国老協セミナー	施設長	1名
R7. 2. 12 給食施設のための栄養講習会	管理栄養士	1名
R7. 2. 19 第2回ケアプラン研修会	介護支援専門員	2名
R7. 3. 6 愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー連携会議	介護職	1名
R7. 3. 9 日本看護研究学会	看護職	1名
R7. 3. 12 介護テクノロジー定着セミナー	機能訓練士	1名
R7. 3. 12 危険体感教育体験セミナー	施設長	1名
R7. 3. 14 介護ロボット・ICT導入事例セミナー	施設長 事務長 介護職 機能訓練士	各1名

施設内研修 勉強会 (2024 年度)

日 時 ・ 研 修 名	参加職種
R6. 5. 28 窒息事故の予防と対応策（事故防止）	全職員
R6. 6. 28 食中毒予防対策勉強会	全職員
R6. 6. 28 介護現場におけるリスクマネジメント 身体拘束及び高齢者虐待防止について	全職員
R6. 9. 26 個人情報保護について	全職員
R6. 9. 26 事故防止について	全職員
R6. 10. 29 褥瘡予防対策勉強会	全職員
R7. 11. 20 感染症対策（研修）・ガウンテクニック（訓練）	全職員
R7. 2. 27 介護現場におけるリスクマネジメント 身体拘束及び高齢者虐待防止について	全職員
R7. 3. 25 感染症対策（研修）・手袋着脱及び手指消毒（訓練）	全職員

14. 活動の様子



地区秋祭り



誕生会



ICT活用（インカム）



園芸クラブ



合同慰霊祭



いきものクラブ